



令和 3 年 11 月 25 日

「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」の  
最終成果シンポジウムについて

2013 年より、文部科学省・国立科学技術振興機構（JST）の支援を受けて、広島大学が中核拠点としてスタートした「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（感性 COI 拠点）」（機構長：吉田秀俊）は本年度が最終年度となりました。来る 12 月 8 日（水）に東京国際フォーラムで、これまでの 9 年間の成果を総括する公開シンポジウムを行います。

本シンポジウムでは、脳・こころ・感性科学研究センターの山脇特任教授や笹岡准教授らによる感性の脳科学メカニズムに基づいて、町澤特任准教授らが開発した脳波を用いたワクワク感の感性メーター、先進理工系科学研究科の辻教授が開発した交感神経活動を血管剛性による可視化技術、山本透教授らによる感性メーターを用いた感性フィードバック制御技術などの研究成果を発表します。

これらの基礎技術を応用してマツダは運転者のポジティブな気分や安心感を考慮した自動車作り、コベルコは操作者がサクサクと掘れるショベルカーの開発、広島ガスは感性メカニズムの応用に基づく床暖房の開発を行い、社会実装されてきています。

また、サテライト拠点の成果も含めて感性技術の統合解析パッケージ化し、様々なものづくり、サービス産業で構成される感性コンソーシアムを結成し、衣・食・住・健康などあらゆる分野における社会実装をさらに展開しています。

なお、山脇特任教授、岡本精神科教授などが長年行っているネガティブ感性（うつ病）の脳科学研究成果と感性 COI 拠点でのポジティブ感性を融合させて、コロナ禍でグローバルなメンタルヘルスの社会課題を解決し、誰もが幸せに暮らせるウェルビーイング社会を実現することで、SDGs の達成にも貢献したいと考えております。

感性 COI 拠点の研究成果にご関心のある方は、是非 12 月 8 日の公開シンポジウムにもご参加ください。

【お問い合わせ先】

脳・こころ・感性科学研究センター  
E-mail : info@bmk.hiroshima-u.ac.jp

# 最新脳科学による 感性可視化への挑戦

JST/文科省事業「COI STREAM」の拠点のひとつ、「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」は、9年間の成果を報告するシンポジウムを開催いたします。  
(詳細は裏面をご覧ください。)



今の夢。10年後の常識。  
新しい未来を作りたい。

